

ほんのしるべ

# 書標

2009 .  
8月号

THE STALIN  
1980★1985  
IICHIRO ENDO  
SSAYS REMIX



● 特集  
ロックな読書



● 著書を語る  
和田 伸一郎  
『民衆の政治的  
潜在能力を信じる』



今月の  
おすすめ

自然科学

先生、子リスたちが  
イタチを攻撃しています！

小林朋道著

鳥取環境大学を舞台に、動物と生徒たちが巻き起こす事件を人間動物行動学の視点から描くエッセイ。『先生、巨大コウモリが廊下を飛んでいます』『先生、シマリスがヘビの頭をかじっています』『に続く先生シリーズ第三弾。テンポよく書かれるエピソードの中には、愛らしい生き物たちの知識が満載。何か面白い本を求めている方必見です！

築地書館

一六八〇円



エレファントム

ライアル・ワトソン著、福岡伸一・高橋紀子訳

「生命」と「意識」を結び神秘を追究し続けてきたワトソンの遺作。本書では、象の知られざる生態から人間との関わり方までが綴られている。自然科学というジャンルに属しているながらも、その語り口は小説のようで、読み進めるうちにいつの間にか文章に引き込まれる。最後には、知識だけでなく趣き深い感動も得ることが出来るだろう。

木楽舎

一八九〇円

TOKYO一坪遺産

坂口恭平著

一坪遺産って何？ まずはそんな疑問が頭に浮かぶだろう。本書では建築において「建てないで、捉え直す」という方法を目指す著者が、都市に出来たスキマともいえる空間を再発見しようと試みる。では、「空間」とは何か。それは、物理的な意味での空間だけでなく、自分の頭の中にしか存在しない場所でもよいのだ。読み終わったあとにはきつと、自分だけの空間を探してしまうはず。

春秋社

一六八〇円

異次元への扉

小笠英志著

SFなどでおなじみの不思議な性質をもった「メビウスの帯」や「クラインの壺」を題材に、高次元空間のおもしろさを紹介するトポロジーの入門書。

図とシンプルな表現がメインで、難しくそうと思いきや比較的すると読め、読後はもつとこの世界が知りたくなるだろう。次は数学の他の分野にもチャレンジしてみようかななどと感じさせる、まさに『異次元への扉』だ。

日本評論社

一九九五円

山で暮らす愉しみと基本の技術

大内正伸絵・文

山の暮らしのノウハウをイラスト図解で紹介する。山へ移住を考える方はもちろん、ちよつと山遊びしたいだけの方にもお薦めしたい。

火の焚き方や縄結びの方法、石窯の作り方や排水溝のメンテナンスの仕方など初心者でも役立ちそうなものから、本格的な山暮らしを支える応用技術まで幅広く紹介する。

農山漁村文化協会

二七三〇円